

急傾斜地崩壊防止対策研修会（実務実践研修）プログラム

現在検討中

主な項目は下記の通りです。項目は変更されることがあります。

【講師プロフィール】

山内裕嗣

- ・所属 株式会社補強土エンジニアリング 代表取締役
- ・資格 技術士（建設部門-土質及び基礎）、一級土木施工管理技士
- ・実績 （一財）災害科学研究所：盛土の性能向上技術普及研究会委員
切土のり面対策工の予備設計業務
切土のり面における切土補強土工（鉄筋挿入工）、アンカー工詳細設計
既設擁壁変状対策のための対策工詳細設計（鉄筋挿入工、アンカー工）等

上野将司

- ・所属 応用地質株式会社 社友、委嘱 岐阜大学客員教授
- ・資格 博士（工学）、技術士（応用理学、建設部門）
- ・実績 道路土工-切土・斜面安定工指針改定委員、地盤工学会「災害連絡会議」委員
- ・著書 「危ない地形地質の見極め方」日経B P社
「切土のり面の設計・施工のポイント」理工図書

【1日目】

1. はじめに

事業の背景・設立・目的
指定条件、行為の制限

2. 急傾斜地の崩壊例

横浜、川崎、広島など宅地の被災例を中心に。
表層土砂崩壊、表層岩石崩壊

3. 調査

資料調査、踏査、土検棒、簡易貫入試験、ボーリング調査、物理探査

4. 対策の考え方

排水、抑止（法枠、ロックボルト、アンカー、擁壁）、崩壊土砂の衝撃力と対策（待受け擁壁）

5. 安定解析

表層崩壊を対象に演習

6. 危機管理

計測予知

【2日目】

1. 斜面保護工の検討・調査

2. 斜面保護工の選定

3. 保護工計算手法

4. 演習